

健康危険情報

なし

研究発表

a. 論文発表

○壁屋康洋、高橋昇、西村大樹、砥上恭子、野村照幸、古村健、箕浦由香、前上里泰史、東海林勝、朝波千尋、小川佳子、宮田純平：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(6)収束妥当性の検証 司法精神医学, 2013;8,20-29.

○壁屋康洋：臨床現場から動きを創る 第6回 医療観察制度にかかわって 臨床心理学,79,142-145,2013.

○西村大樹、壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(7)入院期間、退院後の再入院・問題行動との関連による予測妥当性の検討．司法精神医学,2014;9,22-29.

○壁屋康洋：リスクアセスメントと共通評価項目の現在と未来(第10回日本司法精神医学会大会シンポジウム関連講演).司法精神医学,2015;10,20-29.

b. 学会発表

○西村大樹、高橋昇、壁屋康洋、砥上恭子：共通評価項目の信頼性・妥当性に関する研究(12)-地域生活に対する自己効力感(SECL)と共通評価項目との関連-.日本心理臨床学会、横浜市、2013年8月27日．

○砥上恭子、壁屋康洋、高橋昇、西村大樹：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(13) - AUDIT、IQ、生活満足度と共通評価項目との関連. 日本心理臨床学会、横浜市、2013年8月27日．

○壁屋康洋、高橋昇、西村大樹、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(11)～SAI-J、DAI-30と共通評価項目下位項目との関連 司法精神医学会、東京都、2013年6月1日．

○高橋昇、壁屋康洋、西村大樹、砥上恭子：共通評価項目の信頼性・妥当性に関する研究(10)．司法精神医学会第9回大会,東京都,2013年5月31日.

○壁屋康洋、西村大樹、高橋昇、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(15)～退院申請時共通評価項目による通院移行後の精神保健福祉法入院の予測. 日本心理臨床学会、横浜市、2014年8月26日．

○高橋昇、壁屋康洋、西村大樹、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(17)～退院後の問題行動の予測. 日本心理臨床学会、横浜市、2014年8月26日．

○砥上恭子、壁屋康洋、西村大樹、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(18)～退院後・入院中の自殺企図の予測.司法精神医学会、那覇市、2014年5月17日

○高橋昇、壁屋康洋、西村大樹、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(19)～退院後の暴力の予測.司法精神医学会、那覇市、2014年5月17日

○西村大樹、壁屋康洋、高橋昇、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(20)～入院中の暴力の予測. 日本心理臨床学会、横浜市、2014年8月26日．

○砥上恭子、壁屋康洋、西村大樹、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(22)～通院処遇への移行までの期間の予測. 日本心理臨床学会、横浜市、2014年8月26日．

○壁屋康洋、西村大樹、高橋昇、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(23)～通院移行後の暴力予測モデルの探索.司法精神医学会、那覇市、2014年5月17日

○西村大樹、壁屋康洋、高橋昇、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研

究(24)～通院移行後の問題行動予測モデルの探索.司法精神医学会、那覇市、2014年5月17日

○常包知秀、壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(25)～入院から4ヶ月以内の院内暴力の予測.国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日。

○天野昌太郎、壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(26)～初回入院継続後の院内暴力の予測.国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日。

○高橋昇、壁屋康洋、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(27)～入院継続後の院内暴力予測モデルの探索.国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日。

○壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(28)～入院継続後3ヶ月間の院内暴力の予測.国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日。

○砥上恭子、壁屋康洋、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(29)～入院6ヶ月以降の院内自殺企図の予測.日本心理臨床学会、神戸市、2015年9月19日。

○高橋昇、壁屋康洋、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(30)～院内自殺企図予測モデルの探索.日本心理臨床学会、神戸市、2015年9月19日。

○壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(31)～入院から4ヶ月以内の院内自殺企図の予

測.日本心理臨床学会、神戸市、2015年9月19日。

○砥上恭子、壁屋康洋、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(33)～医療観察法病棟退院申請時のGAF評定による問題事象の予測.司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日。

○高橋昇、壁屋康洋、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(34)～医療観察法病棟退院申請時のICF評定による精神保健福祉法入院・症状悪化による入院の予測.司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日。

○壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(36)～医療観察法退院申請時のICF評定による問題行動の予測。(共同発表)。司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日。

○高野真弘、壁屋康洋、高橋昇、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究(39)～通院移行時の居住地による比較。司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日。

知的財産権の登録・出願状況

a. 特許取得
なし

b. 実用新案登録
なし

c. その他
なし

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
壁屋康洋、高橋昇、西村大樹、砥上恭子、野村照幸、古村健、箕浦由香、前上里泰史、東海林勝、朝波千尋、小川佳子、宮田純平	共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（６）収束妥当性の検証	司法精神医学	8	20-29	2013 年
壁屋康洋	臨床現場から動きを創る 第 6 回 医療観察制度にかかわって	臨床心理学	79 (14 巻 1 号)	142-145	2013 年
西村大樹、壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇	共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（７）入院期間、退院後の再入院・問題行動との関連による予測妥当性の検討	司法精神医学	9	22-29	2014 年
壁屋康洋	リスクアセスメントと共通評価項目の現在と未来（第10回日本司法精神医学会大会シンポジウム関連講演）.	司法精神医学	10	22-29	2015 年